



動労連帯高崎

国鉄高崎動力車連帯労働組合

〒360-8799 埼玉県熊谷郵便局私書箱56号
srkcp@yahoo.co.jp 048-722-7107 (FAX共)
dororentai@gmail.com
2017年3月30日 No. 156

安心して働き、人らしく生活ができる賃金と環境を！

本日！ストライキ決行

3月30日

私たち動労連帯高崎は、JR東日本高崎支社と外注会社で働く労働者の労働組合です。私たちは本日3月30日、JRの安全無視の業務外注化反対！TTS（高崎鉄道サービス）の劣悪な労働条件の改善を求めて、構内業務や清掃の職場でストライキを決行します。

JRはこの間あらゆる鉄道業務の外注化・合理化を極限的に推し進めています。TTSの職場は最低賃金すれすれの低賃金で、さまざまな強労働と人手不足、労災と病気の多発に悩まされています。

ダイ改で地方の鉄道を切り捨て、駅も次々と駅員を外注化・非正規化し、緑の窓口などもどんどんと閉鎖し始めています。金儲け最優先で労働者の生活や利用者へのサービスすら切り捨て、年間4000億以上の利益をあげ、株主に500億以上も配当するたに鉄道事業を利用しているのです。



3・30ストライキ方針

- ① 籠原駅前 スト突入集会 08:30～
- ② TTS 籠原事業所前 スト突入集会 14:50～
- ③ ストライキ総括集会 17:30～
熊谷市立文化センター文化会館
(熊谷駅南口から南へ徒歩4分)

TTSは団体交渉に応じろ！

2017年3月18日

JR 高崎鉄道サービス株式会社
代表取締役社長 水上 陽介 殿

国鉄高崎動力車連帯労働組合
執行委員長 漆原 芳郎

争議行為通告書

2月27日付にて当組合が申し入れた諸要求に対して未だ団体交渉が開催されていない事に対して強く抗議するものです。

各事業所の清掃業務における慢性的要員不足による過重労働、それに伴う労災、私傷病の多発などを解消し、労働者が安心して働ける労働環境の改善を求めます。

健全な家庭生活が出来るような賃金体系の構築と、誰もが安心して家庭を持って家族を養っていけるように、大幅な賃上げを含む諸待遇の改善を求めます。

その他申8号の諸点について再度団体交渉の実施と、誠意ある対応を求めて、当組合は上部組織動労総連合の方針に基づき3月30日にストライキを実施することを通告いたします。

記

- 1. 期日
2017年3月30日から31日にかけて。
- 2. 実施箇所
TTS 籠原事業所、TTS 熊谷事業所



私が動労連帯高崎に加盟したきっかけは、シールズなどの学生たちの行動でした。自分にも何か出来ないか？と当時考えていたと思います。政府の安本法の強行やフクシマの対応にたいして、微力でも間違いを正す行動を共にやりたいと思いました。



初めてストに決起する橋本組合員(籠原・清掃)

TTSの現場の現状は人手不足で、みな連休を取られて出勤していません。人が辞めない体制作りを確立しないとならない！そのために私もはじめてストライキに参加します。

闘う労働組合に結集して外注化粉碎！ 全員の正規職化を勝ちとろう！

ストライキ・スローガン

- ①希望者全員を正社員に！外注化粉碎！
- ②時給1500円以上の賃金を払え！
- ③住宅・扶養手当を払え！
- ④人員不足を解消しろ！
- ⑤職場の安全と労働者の健康を守れ！

動労連帯高崎の春闘要求

2017年2月27日

申し入れ

生活改善、労働条件改善に関して下記の各項目について申し入れるので、3月20日までに団体交渉を開催し誠意ある回答をされたい。

記

1. 希望者は、誰もが社員になれる制度とされたい。
2. 賃金引き上げについて
 - (1) 各職の賃金を時間当たり最低1,500円の基準で算定されたい。
 - (2) 各職に住宅手当を支給されたい。
 - (3) 各職に扶養手当を支給されたい。
3. 要員関係について
 - (1) この間会社は要員は足りていると答えて来たが、各事業所における社員数及び充足率を明らかにされたい。
 - (2) 各事業所における定着率を明らかにされたい。
 - (3) 規定の作業人員に満たない状況で作業を実施した事例があるのか明らかにされたい。
 - (4) 事業所における休日出勤の実績、統計を明らかにされたい。
 - (5) 各事業所における年休消化率を明らかにされたい。
 - (6) 籠原事業所における、契約外勤の更新を行わなかった経過を明らかにされたい。
 - (7) ダイ改に対応した人員配置になっているのか明らかにされたい。
 - (8) 今時ダイ改において籠原構内関係のK1及び日勤勤務の点呼場所を変更した経緯を明らかにされたい。
4. プロパーの養成状況について
5. 労災の多発について
6. 今後の収支見込みについて

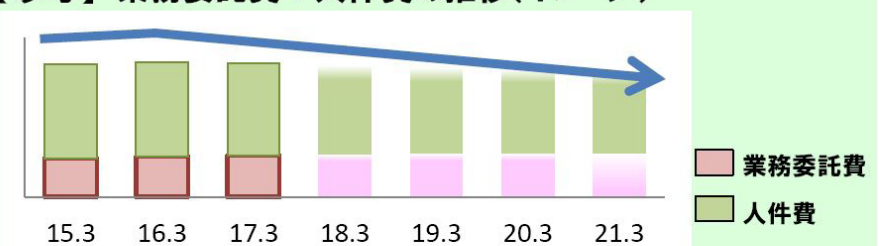
【資料】

経常利益の増加（2016年は4289億円！）と外注化（委託）による人件費のカットを株主にアピールするJR



JR東日本グループの持続的な成長へ

【参考】業務委託費+人件費の推移(イメージ)



【2016.3期実績】 6,759億円（業務委託費 2,026億円 人件費 4,732億円）
 【2017.3期計画】 6,700億円（業務委託費 2,080億円 人件費 4,620億円）